



県議会議員3期目前半の仕事

県議会議員3期目のスタートを切らせていただいてより2年。任期4年の折り返し地点を迎えました。今回の県政ジャーナルでは、3期目前半の主な仕事を紹介させていただきます。

相鉄線大和駅にホームドア

相模鉄道の大和駅にホームドアが設置され、このほど運用が始まりました。

鉄道駅における事故が相次いでいることから、私は2011年の県議選初当選以来、一貫してホームドアの設置を推進してきました。

公明党は2013年、県議会の本会議で、国の補助に加えて、県としても設置費用を補助し、鉄道事業者の後押しをするよう要請。その後、神奈川県は補助制度を創設し、大和市も補助制度を導入しました。

大和市内では、これまでに東急田園都市線のつきみ野駅と中央林間駅でホームドアが設置されています。これからも地域の安全・安心のため、全力をあげてまいります。



小田急線踏切内の歩道が拡幅

小田急江ノ島線と県道40号（厚木街道）が交差する大和1号踏切内の歩道が、このほど拡幅され、カラー舗装となりました。

この踏切は歩道が狭いうえ、トラックなどの大型車の通行も多く、2015年6月に自転車に乗っていた県立高校の男子生徒が亡くなる痛ましい事故が起きました。

事故後、鳥淵優・大和市議と現場を調査。すぐに、県道40号を管理する厚木土木事務所東部センターに対して、踏切内の歩道の拡幅など、再び事故を起こさないための改善策を求めています。

東部センターと小田急電鉄の協議の結果、まず踏切の警報機が視認性の高い新型に交換され、今回、歩道の拡幅が実現しました。

上和田歩道橋交差点、歩行者用信号機を設置

国道467号線（藤沢街道）のオーケー大和上和田店前の交差点に2020年2月、待望の歩行者用信号機と横断歩道が設置されました。

この交差点は、歩道橋があるものの、高齢者などの方々にとっては階段の昇り降りが難しく、地元の自治会の方々が、信号機のある横断歩道の設置を求めて4年前に大和警察署に要望書を提出。

私自身も、河端恵美子市議とともに現地でカウンターを使い、横断の状況などを調査するとともに、警察への要望を粘り強く続けていました。

